

環境省「令和3年度脱炭素社会を支えるプラスチック等資源循環システム構築実証事業」における  
「補助事業者からの事業報告会」

開催のご案内

一般社団法人日本有機資源協会では、環境省「令和3年度脱炭素社会を支えるプラスチック等資源循環システム構築実証事業」の内、交付を受けた補助金を財源として、化石由来プラスチックを代替する省CO<sub>2</sub>型バイオプラスチック等（再生可能資源）への転換・社会実装化又はプラスチック等のリサイクルプロセス構築・省CO<sub>2</sub>化を行う実証事業に要する経費に対して、当該経費の一部を補助する事業を実施して参りました。

令和3年度は、間接補助事業者（補助金交付者）として新たに14事業者が採択され、令和2年度からの継続9事業者と合わせて23事業者が実証事業に取り組みました。

これらの取組の概要と成果を広く周知・広報することを目的として令和4年3月に開催を予定していた報告会については、新型コロナウイルス感染症の影響等も踏まえて延期をさせていただいておりましたが、今般、下記にて開催することといたしましたのでお知らせいたします。

多くの皆様にご参加いただきますよう、よろしくごお願い申し上げます。

記

1. 催事名

「令和3年度脱炭素社会を支えるプラスチック等資源循環システム構築実証事業」  
における「補助事業者からの事業報告会」

2. 開催日時：2022年12月19日(月) 13:00～16:00 【リサイクル事業】  
2022年12月23日(金) 10:00～17:00 【代替素材事業】

3. 開催方法：会場（馬事畜産会館2階会議室）及びオンライン（Zoom）併用  
住所：東京都中央区新川2丁目6-16

4. 参加費：無料

5. 内容

「補助事業者からの事業報告」

各事業の概要は、下記ページの下部をご参照願います。

<事業成果広報資料>

<https://www.jora.jp/activity/22datsutanso/>

※フタムラ化学株式会社については、令和2年度事業の資料をご参照願います。

6. 聴講方法

会場参加及びオンライン（Zoom）併用 ※両日もしくは1日のみでもご参加可能です。

参加フォームよりお申込みください。→<https://forms.gle/j8iyJbvrfod2RhR68>

なお、会場は定員（80名）に達した場合は、オンラインの参加となります。

(別紙)

「令和3年度脱炭素社会を支えるプラスチック等資源循環システム構築実証事業」  
における「補助事業者からの事業報告会」 次第

I. 開催日時：【リサイクル事業】 2022年12月19日(月) 13:00~16:00

【代替素材事業】 2022年12月23日(金) 10:00~17:00

II. 開催方法：会場・オンライン併用

III. 主催：一般社団法人日本有機資源協会

IV. 内容：(報告順・時刻等は変動する場合があります。)

1. 主催者挨拶 (13:00)： 一般社団法人日本有機資源協会 会長 牛久保 明邦

環境省 挨拶

2. 事業者報告 (事業者名称等は採択時の内容です。)

12月19日(月)

(1) リサイクル実証事業		
13:10	アスクル株式会社	使用済みプラスチック製品のリサイクルバリューチェーン構築実証事業
13:30	栗田工業株式会社	使用済紙おむつ由来プラスチックのリサイクルプロセス実証事業
13:50	株式会社ジーエムエス	使用済み廃カーペットタイルリサイクルによる養生シート開発及びそのリユースプロセス構築によるCO <sub>2</sub> 削減実証事業
14:10	= 休憩 =	
14:15	株式会社湘南貿易	難処理プラスチック複合材(工場端材等)のケミカルリサイクルシステム構築実証事業
14:35	住友化学株式会社	PMMA(アクリル樹脂)のケミカルリサイクル実証事業
14:55	ハンディテクノ株式会社	リサイクル困難プラスチックと木質廃材を利用したマテリアルリサイクル技術実証事業
15:15	= 休憩 =	
15:20	URSハリマ株式会社	リサイクル困難なPETトレイ等のリサイクル実証事業
15:40	株式会社リコー	複写機用サプライであるトナーカートリッジの再生実証事業

終了(16:00)

以上

12月23日（金）

(1) 代替素材実証事業		
10:10	アキレス株式会社	農林業用途におけるポリプロピレン製品から植物由来原料を含有する土壌生分解性製品への素材転換実証
10:30	株式会社カネカ	廃食用油を用いた PHBH の高効率化生産と商業化実証
10:50	環テックス株式会社	リグニン系未利用植物資源から、石油化学物質を代替する新規機能性バイオプラスチック基幹物質の大量生産創出実証事業
11:10	= 休憩 =	
11:15	株式会社グリーンサポート	バイオマス素材を材料とする農林水産業資材の用途に応じた生分解性評価及び製品化実証事業
11:35	三協化学工業株式会社	バイオマス原料を用いる多層バリアフィルムの開発実証事業
11:55	株式会社事業革新パートナーズ	大麦由来ヘミセルロース活用バイオプラスチック樹脂によるタンブラー容器向け化石由来プラスチック代替実証事業
12:15	= 休憩 =	
13:15	株式会社ダイセル	自然回帰原料による合成系微粒子代替に関する実証
13:35	ニチモウ株式会社	海洋資材（漁網・ロープ等）のバイオプラスチック化とその商品化・普及に関する実証事業
13:55	株式会社バイオマスエンジニアリング	余業米を原料に含み、バイオマス比率が高いバイオプラスチック樹脂加工品成形のための技術実証事業
14:15	= 休憩 =	
14:20	株式会社 Biomaterial in Tokyo	古紙由来バイオエタノールを利用したポリエチレンおよびポリスチレンの製造に関する実証
14:40	丸紅株式会社	循環型食器 edish のバリエーション検討・成形技術実証及び堆肥化技術実証事業
15:00	株式会社丸萬	バイオマス資源を用いる脱プラスチック包材開発実証事業
15:20	= 休憩 =	
15:25	三菱ケミカル株式会社	バイオマスを活用した接着剤の開発とグリーン合板への応用に向けた技術実証事業
15:45	都インキ株式会社	透明化インクを活用した「クリアペーパーファイル」の開発実証事業
16:05	レンゴー株式会社	新規連続法による微小セルロース粒子の量産体制確立と、マイクロプラスチックビーズの代替に関する実証
16:25	フタムラ化学株式会社	イオン液体法によるセルロース不織布製造の実証事業

終了（16:45）

以上